

平成 28 年度 第 1 回「三条市勤労青少年ホーム運営審議会」会議録

平成 28 年 12 月 16 日調製

1 日 時	平成 28 年 1 月 14 日 (月) 午後 2 時開会
2 場 所	三条市勤労青少年ホーム 音楽室兼集会室
3 出席委員	小林、藤田、秋山、関本、高橋、中川、高橋、坂田、川上の各委員
4 欠席委員	柄澤委員、原田委員
5 説明のための出席者	佐藤館長、佐藤事務長、諸橋主任
6 所管課	渡辺商工課長、近藤商工課職員
7 傍聴者	なし
8 報道機関	三条新聞社
9 議事内容	(1) 平成 28 年度事業計画及び実施状況について (2) その他
10 会議の経過及びその結果	
小林会長	これより第 1 回の運営審議会を開会します。会議始める前ですが今年度新たに委員になられた方の自己紹介をお願いします。
関本委員、川上委員	自己紹介
小林会長	本日の出席者は 9 名、欠席者は 2 名で傍聴者はゼロです。はじめに佐藤館長、ご挨拶をお願いします。
佐藤館長	11 月半ばのお忙しい時期にお集まりいただき感謝申し上げます。この会議はソレイユ運営の基盤となる大事な会議です。きょうは 2 人新しい方もいらっしゃいますが、忌憚のない意見でこれまで以上に活発なソレイユ運営にしていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。
小林会長	早速ですが議事に入ります。 それでは本日の議題 1 の平成 28 年度の実施状況報告について事務局をお願いします。
佐藤事務長	資料に基づき説明。
小林会長	これから皆さんから気づいたこと、ご意見など伺っていきますので、お願いします。
坂田委員	勤労青少年という枠は独身の方だけですか。
佐藤事務長	特に独身には限定していませんで、結婚されている方のみならず年配の方まで、現在は勤労青少年にこだわらず、ソレイユ三条という名前を前面に出して募集しています。
坂田委員	前回もお話ししたと思いますが、子育てをしながら勤めているお母さんも多いわけですが、講座に参加したいと思っても、子連れで参加できる講座とか、

	<p>講座の間、子どもを見てくれる一時預かりなどがあるともっと参加者が増えるのではないかと思います。すまいるランドなどもありますが、子育て環境の整備という意味で、悩みを話せるとかお茶を飲むスペースとかあれば、そういう人たちも気軽に参加できるのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
佐藤事務長	<p>前回もそういうお話があったので、内部で検討してみましたが、ソレイユは見た目大きな建物ですが、使用できる部屋は現在3つしかありません。夜間の講座の時は空いている部屋がないという状態です。そんな状態ですので、預かる場所の確保という点では物理的に難しいかなと思っております。</p> <p>事業の中で特に謳ってないですが、子連れでもいいというような講座の中にはあります。ZUMBAとか以前あったダンス系など、子どもさんを連れてきて終わるまでの間、隅で見ていてねって、聞き分けのある年頃であれば一緒に来てということは実際にありますので、これまでもいくつか事例はありました。ただ、手のかかる小さいお子さんと難しいかなと感じております。</p>
坂田委員	<p>最初は預かるところまではいかなくても、このメニューはお子さんと一緒にOKというものがあれば利用も広がるのではないかと思います。アルバイトを雇って少しの間、見てもらうとか。ぜひまた検討してみてください。</p>
小林会長	<p>なかなか難しいですよ。乳幼児から2、3歳児までというよね。</p>
坂田委員	<p>ただ、置いては出て来にくいという方はたくさんいると思いますよ。</p>
中川委員	<p>先ほどの説明の中で、周知方法でもう一工夫したいが苦慮しているということで（私なりに）考えてみたんですが、思いつかなくてすみません。</p> <p>（その他）地元メディアへの情報提供という点で、例えばまるごと県央とかにも情報はいつているんですよ。</p>
佐藤事務長	<p>はい。</p>
関本委員	<p>（登録は）15歳以上からになるんですか。初めての人は公的なところは入りにくいのではないかな。より利用率を高めるためには、そこで小中学生が参加できる事業なり、例えば体験教室的なものを作ってもらうとか、より小さいときから馴染みやすい施設であり気軽に使える施設ですよということを理解進めることも一つの手かなと思っております。</p>
小林会長	<p>小中学生対象の事業とか過去にあるんですか。</p>
佐藤事務長	<p>小中学生向けの事業とかイベントとかは特にやっていないですが、例えばソレイユ祭のオープニングで幼児の踊りとか今年は中学生の吹奏楽部から演奏をしていただきまして、誰でも楽しめる施設ということをアピールしているわけですが、学生向け単独の行事というところ考えてはいません。その他、サークルで子供を連れてくるとかバーベキューで友達を連れてくるなど、誰でも参加できるということですし、プロのミュージシャンを招いて誰でも来てください、ということで今年度はソレイユ祭のチラシを嵐南地区すべてのご家庭</p>

	に広報と一緒に配布したことで、結果はどうあれ、少しは身近な施設ということアピールできたのではないかと考えております。
秋山委員	3月の時にお尋ねした件ですけど、土日は職員体制がシフト制で難しいけれど、アンケートでニーズがあれば検討するという回答だったと思いますが、今回11月から12月にアンケート実施するとありますが、そういうことも含まれているのでしょうか。
佐藤事務長	そうです。今回のアンケートは、講座・サークル・事業所に配布するもので実は休日に実施するゴルフ講座というものをに入れてあります。館内の使用ではありませんが、例えば土曜日の午前中練習場で、勤務した職員は平日に振替を取るという体制で、この位だったら実施できそうかなというところでなんとか考えてみました。それ以外でもニーズがあれば検討しますが。
小林会長	休日はやはり9時～22時までの開館でソレイユ主催の講座はやってないということですか。やるとやっぱり正規の職員が必要になるからやらない。
佐藤事務長	今現在、休日に関してはシルバー人材センターに委託しているわけですが、業務内容が管理だけで、講座をやるとすると講師との連絡調整や受講料等の受け取りなど様々な事務量が増えてきます。そうすると契約内容が異なりますし、責任問題も出てきます。
小林会長	お金のやり取りがなければできそうな気がしますけどね。
渡辺商工課長	以前、そういう話もあって直営の時もアンケートを取った覚えがあります。その結果、土日の希望があまりないということで、やらなかったと記憶しています。勤労者ということで、やはり仕事が終わった後のほうが寄りやすいということがあって、休日は家でゆっくりするとか遊びに行くということのほうが多いのではないかと推測しています。したがって土日の講座のニーズはなかったと聞いています。 また、それから少し時間が経っていますので、どのように変化したか改めてアンケートでニーズを把握することも大事なことだと思います。
秋山委員	平日と違って土日はガラガラということでもないのですか。平日は講座がありますから休日は貸館だけだとかなり空いているのではないかと感覚的に思っています。
佐藤館長	確かに貸館も高低ありますよね。いろんな団体が入ってしまして、大人数で多目的ホールを利用しているケースもあります。
秋山委員	資料の中に休日の実態等が入っていないので何とも言えませんが、休日の利用状況がわかればいいかなと感じました。
佐藤事務長	資料の中で、クラブ・サークルのうちプラモデルサークルとスペシャルオリンピックは土日の活動ですし、その他にも土日を使用するケースもあります。それ以外でも最近では先ほどの体文・体育館の取り壊しによって多くの団体が流

	れてきて、けっこう空いていないというケースがございます。
小林会長	次回から土日の稼働率なども参考資料として出してもらうことにしてデータとしてあればいいですね。
高橋（知）委員	運営協力委員から出ていますが、生け花を3年ほどやっていますが、来る前よりも花のある生活をして充実しています。ソレイユの職員さんも丁寧に対応していただいています。しかし、同じ講座で3年くらい通った人が、新鮮味がないと言って止めて行きました。3年とはいうものの季節ごとの花なのでパターンが決まってくるわけです。それは仕方ないのですが、講師先生はどうしても長くやっていてマンネリというか保守的というか、それが悪いというわけでは決してないのですが、私も少なからずそれを感じています。もう一つ、短期講座を充実させたらいいんじゃないかなと思います。例えば料理ができない方のためにゼロから始める料理講座とか、回数は3回～5回とかなら集中してできると思います。他に季節に合わせて浴衣を着る講座とかは回数が少なくてもできるので、その時は私がしゃしゃり出てもいいので、やれるのではないかなと思っています。
佐藤事務長	今年度から短期講座を考えながらいくつか導入していますが、今ほどの意見を参考に講師を捜しながら来年度に向けて考えてみたいと思います。
坂田委員	今ほどの意見で、ソレイユで夏祭りは出ていらっしゃいますか。出てないですか。であれば、三条おけさとか2、3回練習する講座を開設して、祭りに出してみるとか。地域のコミュニティーの参加が少なくなっているようですし、企業も少なくなっているようです。企業などから使っていない浴衣があったら寄付してもらおうとか、会議所と連携して出てもいいのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。
中川委員	民謡流しに参加してもらいたいのですが、実は増えているんですよ。増えてはいるんですが、若い方が出て来てくれないという悩みもありまして、夏祭りをもう少し盛り上げたいと思っているんですが、企業の側も坂田委員からお話があったように、わからないから出てこないのではないかなという話もあって、来年度に向けて踊りの講習もできるようなDVDを作りながらやっていきたいと思っていますので、連携できればありがたいと思っています。
小林会長	是非、商工会議所と連携してみてください。ちなみに講座とかは何を見て来られているのですか。
佐藤事務長	当初は広報さんじょうを見られて来ていますし、あとはホームページ、それから地元新聞にも取り上げられますので、そういうところで応募してきます。
小林会長	新聞は記事として出ていますか。短期講座をやるにしても、ちゃんと認知しているか気になります。三条新聞は読みませんし、せっかくいい講座なのに知らなかったらもったいないなあと思ひまして。

高橋（秀）委員	遅れてきてすみませんでした。今ほど小林会長の話に関係するかもしれませんが、CAD講座をやらしていただいて、お客さんから来ていただいてこれからやるのかもしれないですが、講座ごとにアンケートは取る予定ですか。それとも講師任せですか。
佐藤事務長	今回11月から12月にかけてアンケートをやるんですが、CAD講座を含む短期講座も当然その期間に含まれていますので、アンケートをさせていただきます。
高橋（秀）委員	じゃあ毎回どの講座の参加者からも必ずアンケートは取っていますか。
佐藤事務長	そうですね。1年に1回すべての講座と利用者からアンケートを取っています。
高橋（秀）委員	その中で、パンフレットを入れるとか、こういう講座をやっていますとか、イベントの情報があると、その人たちが再利用につながっていくと思いますし、ご家族の方がこうこともやっているんだよという話もできるんですね。アンケートにパンフレットやチラシ、ソレイユ三条ってどういう団体かわかる情報をつけてもらえるといいかなと思います。
小林会長	今そういった情報は。
佐藤事務長	アンケートを配るところには毎月ソレイユだよりを配っておりますので、アンケートにソレイユの情報をプラスして配るという考えは今のところ持っていません。
佐藤館長	ソレイユだよりは月一で必ず発刊していますし、ただ、皆さんのお話を聴いていてまだまだだなと知る機会がないのかなと感じています。
小林会長	参加されている方には毎月情報がいつているわけですね。
佐藤館長	福祉推進者の事業所だとか関係団体や皆さんのところにはすべて配っているのですが。
高橋（秀）委員	そこまで目の届くところと届かないところとあるもので、アンケートに入っているということであれば、あとは講師の人たちにも見てくださいねというお願いだとか何かきっかけを作れるようにしてもらったほうがいいと思います。
佐藤事務長	短期講座はまだ配ってないですが、配るようにしたいと思います。
小林会長	私は印刷に携わる仕事をしているので一言。ダイレクトメールって開けてみる人は100人のうち3人とか4人とかと言われているわけですね。講座に来ている皆さんには開いた状態で見ってもらうので読んでもらえる確率は高くなるのかな。一応パラパラとめくるぐらいはしますからね。
高橋（秀）委員	11月から12月ですと先ほどから話に出ていた短期講座の場合、かぶらない可能性も出てきますね。
佐藤事務長	そうですね。11月前に終わる講座については何らかの形でアンケートができるように考えた方がいいのかなと思います。

川上委員	初めて審議会に参加しましてソレイユ三条はどんなことをやっているか今日知ったわけですけど、資料の中に登録者数というのがありますが、目標値とだいぶ差があります。登録者というのはどういうタイミングで登録するのか、あるいは実際に登録していなくても参加している方がいらっしゃるのか。登録者数は242人で三条市全体から見ますと桁が一つ違うのではないかと思います、登録者とはどういう位置付けの人なのかお聞きします。
佐藤事務長	まず、ソレイユ三条の講座に入りたい、表にあります例えば英会話だとか茶道だとかその講座を受けたいという方にはすべて登録してもらいます。それ以外にクラブ・サークル活動に参加した方にもすべて登録してもらいます。それが登録者数の数字になってございます。ですので、全く素性の知らない人が紛れ込んでいることはありませんし、また、先生が急に都合が悪くなったときに連絡するためにも登録が必要となってきます。
小林会長	40歳以上を足すと450人になるわけですが、いずれにせよ初めて聞いた方は少ないという印象を受けるかもしれませんね。
川上委員	登録数を先に増やすのか講座に参加する人を増やすのかどっちが先なのか、登録するきっかけというのは参加した時点という理解でよろしいか。
佐藤事務長	はい、そうですね。参加したいという意思表示をされたときに登録をしていただくことを基本にしていますので、登録者数を増やすということはなるべく魅力ある講座を開設して、参加者数を増やせば登録者数の増加につながるということになります。
川上委員	例えば一般企業の経営者さんに、勤労青少年ホームの利用を従業員にお願いするような仕掛けはできないものか。
佐藤事務長	それは、9番のところに三条地区勤労青少年福祉推進者連絡協議会というものがあります。三条市内を中心とした主な事業所が加盟してましてそこに毎月なり情報を差し上げて参加者を募っていくというルートがあります。
佐藤館長	いま33事業所が加盟しお願いしている状況です。
藤田副会長	その（協議会）会長をやっておりますのでひやひやして聞いていました。私の会社では、ポスター等は掲示して、情報などは若者を中心に配っておりますし、フレッシュな社員には必ず声掛けをして参加を促しております。 私からの質問ですが、今回フレッシュ社員研修会でソレイユの説明をしたということですが、うちの社員も2名参加して聞いてきましたが、説明を聞いて新規で登録したという実績はあるのでしょうか。
佐藤事務長	正直なところそれを聞いて来ましたという方はいらっしゃいません。一応登録してもらう用紙には何を見て来たかというマルを付ける欄がありますが、そういう理由では現在「その他」欄しかないのです、今後はそういった項目も増やしていけば、もう少し詳しいデータを得られると思います。

藤田副会長	<p>我々の企業の立場としてはこれが限界なので、とにかく若者は個人主義ですので勤務も忙しいさなか、よほど自分の趣味にあったものでなければ仲間と遊ぶとか家にいるという方を優先して、こういったサークル活動や講座には参加しないというのが現状だと思います。決して何もやってないわけではないですが、もしかするとPRの仕方が悪いのかもしれませんが、我々が主催するいろいろなイベントには力を入れて声をかけています。今月29日に講演会がありますし、来年2月にはボウリング大会も予定しています。そういうイベントには徐々に人数が増えてきて活性化してきています。ただ、個人になるとなかなか伝わらないというのが現状です。</p>
小林会長	<p>いま藤田さんのご意見のように声掛けをしているということ聞いてすごいなあと思いました。僕らの会社ではせいぜい貼り付けておくくらいで、それ以上のアクションは起こしていません。それこそ仕事帰りに仲間と飲みに行ったりすることはあっても、三条市民の9割以上がソレイユに行ってみようかという気にはならないと思いますね。そういうことで伸び悩み、立ち止まっていることになっているのかと思っています。</p> <p>そんな中、体文と総体がなくなって、その影響で利用者が5,000人も増えたことはある意味チャンスなのではないかと思っていますが、また、新しい素晴らしい施設ができればそちらに流れていくことは目に見えているので悩ましいことでもありますね。一方では毎日会場がふさがっているということは、貸館としての利用価値としては十分で、それプラス行政サイドが講座を設定して、人が来てそれはそれでまあまあかなと個人としては感じています。やっぱり続けていないとゼロになってしまうので、逃げることなくやっていただきたいと思います。</p> <p>その他意見がなければその他に移りますが、何かありますか。</p>
坂田委員	<p>先日、他の催し物の中で、ハローワークさんと話をする機会がありまして、職場探しで悩んでいる方が多くて、前サポステがあった時はどうかわかりませんが、例えば土日にハローワークの出張とかは可能なのでしょうか。</p>
小林会長	<p>ハローワークの出張とは例えばどんな。</p>
坂田委員	<p>例えばここでパソコンの端末を使って、希望の仕事のマッチングなど。</p>
佐藤事務長	<p>職業相談であれば、趣旨が若干違いますが、ここにワークサポート三条があって毎日相談に乗っています。ただ土日はやっていません。その他にここを利用して再就職支援セミナーということも場所を借りて月に1、2回行っているようです。</p>
坂田委員	<p>仕事の相談ができるんだっていうことが伝わっているのでしょうか。ハローワークに行かないと仕事が見つからないのかなと思っていますし、仕事探しはハローワーク経由の方が特典などあったりして便利なようですが、私からする</p>

	とハローワークは敷居が高いというか、土日はやっておられるんですけど。いつも混んでいるという話は聞きますが。
関本委員	最近は一時期に比べて空いてきてはいますが、相変わらず毎日多くの方が訪れています。土日の営業ですが、全国の端末とつながっていますので新たに稼働するとなると信じられないくらいの金額がかかります。そういった部分で、現在は厳しいかなと思っております。
佐藤事務長	ワークサポートでは土日を除く毎日、いつでも相談に乗りますよという形でやっています。
渡辺商工課長	(ワークサポートは) 法律的に仕事の斡旋はできませんが、月曜から金曜まで悩み相談や書類の書き方などの相談業務としてやっています。
坂田委員	障がい者雇用というのは別の枠があると聞いているが、メンタルな方も含めて障がい者雇用に関する相談窓口的なこともやっておられると思いますが、もう少しアピールしてもいいんじゃないかなと思いますが、いかがでしょうか。
佐藤館長	もちろんハローワークさんでは障がい者雇用の情報も持っておられますし、サポステも就職するまで面倒みているわけですが、サポステもここを利用してトレーニングを行っていて、こちらも支援をしています、ソレイユが直接障がい者支援ということは行っていません。
関本委員	障がい者支援というと専門的な知識も必要になってきますので、やるとしたらかなりハードルは高いと思います。
小林会長	そういう方々はもうすでに何らかの支援等は受けていますので、ゼロベースでここに来るってことは考えにくいでしょうね。
渡辺商工課長	あと、この他にも話が出ています若者サポートステーションの関係では、三条地域若年者職業支援ネットワークという会議がございますので、そちらに障がい者雇用支援関係者である就業支援ワーカーの方とか様々な機関・団体の方が参画していますので、そちらで連携をきちっと取って、そちらの方でまたそういう話を出していただいています。
小林会長	障がい者には区分されないけど、グレーゾーンの方がどうしたいかという…
坂田委員	議題と違うかもしれませんが、きょうはこういう機会があったものですからそういった方々のために何か連携ができないものかという観点から提案させてもらいました。
渡辺商工課長	若者サポートステーションは旧南小学校に事務所がありますので、そちらに足を運んでいただければ親切丁寧に対応しますので、まずは市に問い合わせをしてもらっても構いません。
小林会長	では、議題(1)を終わって議題(2)のその他に移りますが、何かありますか。
佐藤事務長	議題としては特にありませんが、事務連絡的になりますが、次回の会議を3

	<p>月の中旬ぐらいを予定しています。議会の関係で、少ない日数で調整させていただきますので、皆さんの出席をお願いします。</p>
秋山委員	<p>今回、出席者数が足りなくて1か月延ばしましたが、他の会議では委任状を取って例え定足数に満たなくても会議は開けることが多いと思いますが、こちらではあくまでも過半数に満たなければ開催しないのですか。人数が少なくても構わないという気がします。</p>
佐藤事務長	<p>私たちは過半数を謳っている審議会規則に則って進めていますので、条文に委任状という言葉がない以上は規則に忠実に開催させていただきます。</p>
佐藤館長	<p>皆さんそれぞれお忙しい立場であることは重々承知しておりますが、私どもとしては規則もそうですが、なるべく多くの委員さんの意見をお伺いしたいので、年に2回でするので何とか集まっていたいただいて開催できればと思っておりますのでよろしくお願いします。</p>
小林会長	<p>それでは皆さん方から特になければ事務局に戻します。</p>
佐藤事務長	<p>審議会規則では運営審議会の会議録を作成することになっていますので、今回の会議録は会長と事務局で調製しまして後日ホームページに掲載予定です。</p>
小林会長	<p>はい、ありがとうございます。これで閉会とさせていただきます。 お疲れさまでした。</p>
	<p>閉会 午後3時30分</p>